

市の木・市の花

【市の木】

「ヤマザクラ」(オオシマザクラを含む)は昭和 50(1975)年 10 月 25 日に市の木に制定されました



ヤマザクラは本州(関東地方以西)・四国・九州に分布する日本の代表的な桜です。低山地に多いですが、平地でもよく見かけます。寿命はとても長く、100年~150年とも言われていて、高さは15m~25m、幹の直径は1mを越えるまで成長します。材は建築材、家具材等に用いられ、古来(こらい)、樹皮は食中毒、果皮は胃カタルに多用されたそうです。鎌倉市では3月下旬~4月上旬ころに散在ヶ池(さんざがいけ)森林公園で美しい花を見ることができます。

| | |
|-----|--------------------|
| 和名 | 山桜(ヤマザクラ) |
| 学名 | Prunus Jamasakura |
| 科名 | バラ科サクラ属 |
| 特徴 | 落葉広葉樹で高木 |
| 花の色 | 白色、淡紅色や淡紅紫色など変異があり |
| 花期 | 4月頃~(葉と同時に花をつけます) |

【市の花】

「リンドウ」は昭和 50(1975)年 10 月 25 日に市の花に制定されました



リンドウは野山に自生するリンドウ科の耐寒性の多年草で、葉が笹(ササ)に似ているのでササリンドウとも呼ばれています。日本、シベリア、中国、朝鮮半島に分布し、種類は約400種類もあり、日本には約18種自生(じせい)しています。漢字で書くと「竜胆」、呼び名の「リンドウ」は竜胆(リュウタン)が訛ったもので、中国でこの名が付けられました。これはリンドウの根から「リンドウコン」という薬がとれるのですが、竜の胆(きも)のように苦いということからだそうです。リンドウの薬効は古くから、世界的にも知られていて、主には苦味健胃、消化不良、食欲増進、解毒などに効果があるそうです。うさぎに化けた神様がリンドウの薬効を教えたという言い伝えもあります。鎌倉市の市草は通称「ササリンドウ」と呼ばれるリンドウ紋です。

| | |
|-----|---|
| 和名 | 竜胆(リンドウ) |
| 学名 | Gentiana |
| 科名 | リンドウ科リンドウ(ゲンチアナ属) |
| 花の色 | 青紫、紫紅、白 |
| 花期 | 9月から11月 (ただしハルリンドウと言って花期が3月から6月の種類もあります) |